



## 学びの意欲を高める授業を目指して

校長 見原 仁

4月26日（金）は、学習参観、学校説明会、PTA総会、学年懇談会を行いました。多くの保護者、ご家族の皆様からご来校いただき大変ありがとうございました。学習参観では、子どもたちが一生懸命に学ぶ姿が見られました。おうちの方からご感想をいただいたり、一緒に学んだりした学年、学級もありました。ご協力に感謝申し上げます。

さて、今年度の学校運営の重点目標は「学校が楽しいと感じる子どもを育てる」です。詳しくは、次ページに掲載してありますのでご覧ください。

「学校が楽しい」と感じる子どもを増やすには、「授業が楽しい」ことが最も大事だと考えています。休み時間が楽しいから大丈夫、というお子さんもいるでしょう。それはとてもいいことです。しかし、学校生活の中で、一番時間が長いのは授業です。この授業が楽しいものでなければ、学校が楽しいと感じる子どもは増えません。

そこで、研修推進委員会という組織が学習指導に関する職員研修を行いました。授業の流れはこうしよう、板書（黒板の書き方）はこのようなものを基本としよう、子どもに書かせる振り返りはこんなことを書かせよう等、全職員で確認しました。

さらに、今後は子どもたちの学ぶ意欲を高めるために、どのように授業を進めればよいのかを研修していきます。私は、まず「子どもの学びの意欲を高めること」が一番大切であると考えています。そのために、職員には「授業に関する教師のコーディネート力を高める」と話しています。イメージとしては「教師が子どもが感じたことや考えたことを取り上げ、全体やグループに投げ掛け、そのイメージを共有しながら、子どもが正解を導き出したり、まとめていったりする学びを陰ながら支援する。」ということでしょうか。

私が好んで読んでいる脳研究者の本に、こんなことが書かれていました。

「いくなれば、子どもたちは大海原にヨットを浮かべて帆を張っているようなもので、先生はヨットに乗り込んで、あっちだこっちだと指図するのではなく、遠くからそれとなくうちわで帆をあおいでやるようにするのです。」

このように、子どもの学びを方向付けるために後方から支援するのです。しかし、常にこのような支援が行われるわけではありません。特に低学年では、教師が導くことが多くなります。ただ、学年が進むにつれ、このような学ばせ方が必要になるのです。

より楽しい授業を、学ぶ意欲を高める授業を目指し、全職員で努力してまいります。



# ほ う な い

第2号

村上市立保内小学校  
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋 264-2

TEL 0254-62-2302

FAX 0254-62-5553

school@honai.e.murakamied.jp

## 令和6年度 学校運営方針 をお知らせします

- 1 教育目標 「強い力 豊かな心」
- 2 目指す学校像 「一人一人が輝き、安心して学べる学校」
- 3 今年度の重点目標 「学校が楽しいと感じる子どもを育てる」
- 4 重点目標達成に向けた方策



### (1) 学び合う

#### ○ 自ら意欲的に学ぶ子どもの育成

- ・ 意欲的に学ぶ子どもを育成するための授業改善。

#### ○ 異なる考えを生かしより良い考えを求める集団づくり

- ・ 異なる考えの違いを焦点化し、より良い考えを作り上げる教師のコーディネート力の向上。

### (2) つながる

#### ○ 自他の良さを認め合い、差別無く助け合う子どもの育成

- ・ 良さを認め合う活動の充実と、差別を許さない、見逃さない意識の向上。

#### ○ いつでも、どこでもあいさつをする習慣の定着

- ・ 校内でのあいさつから、地域でのあいさつへと広げる指導の工夫。

### (3) 挑戦する

#### ○ 目標に向かって粘り強く取り組み続ける子どもの育成

- ・ 目標に向かい粘り強く取り組むことへの賞賛、価値付けと場や環境の工夫。

#### ○ 自分の考えを表現する活動の工夫

- ・ 縦割り班活動、授業を核とした、子ども同士が関わる場での表現力の向上。

## 5 教育目標具現化を支える視点

### (1) 地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校

#### ○ 学校運営協議会とともに地域と連携し、地域の教育資源を生かした教育活動の実施

- ・ 学校運営協議会と力を合わせ、地域コーディネーター、地域連携担当教員を中心として、地域の教育資源を生かし、地域と連携した教育活動をさらに充実させる。

### (2) 教職員の資質向上と働き方改革

#### ○ 子どもが安心して過ごすために、受容、傾聴、共感の確実な実施

- ・ 子どもが安心して過ごすために、教師の接し方が重要である。まずは、子どもの考えを受容、傾聴し、共感する。子どもとの関係づくりを大切にする。

#### ○ 自己決定を促す3つの言葉の確実な実施

- ・ 「どうしたの？」 ・ 「どうしたいの？」 ・ 「手伝うことはある？」

この声掛けで、自己決定を促す。悩んだり困ったりする子どもに、すぐに教師が方向を示すのではなく、自分で考えさせる。この経験を積み重ねることで、子どもは困難に立ち向かう強さを少しずつ身に付けていく。

#### ○ 業務の効率化による子どもと関わる時間の増加

- ・ 情報共有や成績処理等、校務支援システムの効果的な運用を検討する。また、わずかで良いから業務の効率化を積み重ね、子どもと関わる時間を増やす。



## 1年生を迎える会を行いました



5月9日（木）に1年生を迎える会を行いました。今年度は、全校児童が体育館に集まって行いました。

1年生は、6年生と手をつなぎアーチをくぐって入場。その後、2年生がダンスを披露しました。次は、3年生から1年生へメッセージ首飾りのプレゼント。一人一人の首に掛けてあげました。その次は、縦割り班に分かれて自己紹介を行い、その自己紹介で話した「好きな食べ物」は誰かを当てるゲームを行いました。どの班も、とても楽しそうに活動していました。その後は、1年生からのお礼の言葉発表がありました。堂々と発表していました。

1年生は、2～6年生の優しい対応にとってもリラックスしている様子でした。「楽しかったですか？」の問いに「楽しかった！」と大きな声で答えていました。

この会の準備を頑張った5、6年生の運営委員会の皆さん、そして、6年生全員が頑張った準備をしたおかげで、1年生に楽しんでもらうことができました。本当に素晴らしかったです。今年度は、縦割り班を生かした活動をこれまで以上に充実させていきます。

## より良いあいさつを目指します



4月下旬、4年生があいさつ運動を行いました。あいさつ運動の方法を自分たちで考えた結果、たすきをつくり、そのたすきを掛けてあいさつをすることにしました。毎朝、校内に元気なあいさつが響き渡りました。学校運営協議会では「月曜日のあいさつは今ひとつですね」というご意見をいただきました。今後も校内、校外でいいあいさつができるように、子どもたちとともに努力していきます。

## 1年生のお世話を頑張っています



入学式の翌日から、6年生は1年生のお世話をしています。朝学習時は1年生への読み聞かせをしています。読む速さや声の大きさ、本を読む場所など、1年生が見やすく聞きやすいように気を配っていました。絵が小さいときは、電子黒板（テレビ）を使って大きく映し出して読み聞かせをしました。

また、給食配膳のお手伝いもしています。お盆の上に食器やはしなどを上手に乗せられるように見守ったり、少し手伝ったりと、手を掛けすぎないように心掛けている様子が分かりました。

昼休みも1年生と遊ぶ姿が多く見られます。優しさと心配りのある6年生の姿に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 交通安全教室を行いました



4月6日（土）から15日（月）は、春の交通安全運動期間でした。保護者、地域の皆様から街頭指導をしていただき、心より感謝申し上げます。

子どもたちが、安全に登下校したり自転車に乗ったりするために、すべての学年で交通安全教室を行いました。

1年生は、学校近くの歩道、横断歩道、歩道橋を使って、道路の歩き方、渡り方をしっかりと学んできました。横断歩道は手を上げて渡ることや、歩道橋の安全な渡り方を先生から教えてもらいました。

3年生は、神林の交通公園へ行き、自転車の乗り方を学んできました。停車したら、左右後方確認をしてスタートする、交差点での停止の仕方などを一人一人自転車に乗って体験しました。

他の学年は、教室で交通安全について学びました。この学びを生かし、絶対に交通事故に遭わないように毎日を過ごしてほしいと願っています。ご家庭でも、飛び出しは絶対にしない、歩道があるところは歩道を歩く、自転車はスピードを出しすぎないなど、繰り返しご指導いただくようお願いいたします。